

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 石黒 知美		
健福-41	実施事業	高年齢者保健事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

対象	65歳以上の高齢者(機能訓練については、40歳以上)
意図	高齢者の介護予防や健康の増進を図るため。
効果	健康に対する意識を高め、生きがいのある生活を送ることができる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 健康教育(健康づくり、介護予防など)、健康相談(生活習慣改善、栄養、介護予防など)を実施した。 関節疾患等の方(40歳以上)の機能維持・社会参加を目指し、機能訓練(日常生活や基本動作の訓練等)を実施した。 後期高齢者医療保険の保険証受給者及び生活保護受給者に対し、後期高齢者健診及び生活保護受給者健診を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備考
	人口	177,243人	176,869人	人口	176,466人	
世帯数	80,676世帯	80,928世帯	世帯数	81,150世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	109,331	112,649	当初予算(千円)	0	
	国県支出金	193	1,176	国県支出金	0	
	地方債	0	0	地方債	0	
	その他	95,017	96,917	その他	0	
	一般財源	14,121	14,556	一般財源	0	
事業経費運営	人員配置数	4.2	3.8	人員配置数	0.0	
	人件費(千円)	33,865	29,485	人件費(千円)	0	
	総事業費(千円)	143,196	142,134	総事業費(千円)	0	
	市民1人当りの経費(円)	808	804	市民1人当りの経費(円)		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1.今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				成人保健事業、成人健診 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	成人保健事業、成人健診事業と統合することで、引き続き実施していく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	高齢者においては自身の健康に関する意識も高く、地区組織への出前講座等の機会を利用した普及啓発や健康づくり支援ができていると考える。市民の健康の維持増進を図り、疾病予防や介護予防につなげることで、将来的な医療・介護にかかる費用の削減を目的としているため、成人保健事業及び成人健診事業に統合し、平成27年度に策定した「鎌倉市健康づくり計画」を踏まえ、成人期～高齢期の介護予防を含めた健康づくりに向け、切れ目のない健康支援施策を展開していく。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	(機能訓練教室)参加者の年代が比較的若く(平均年齢58歳)、潜在的な対象者は存在するが、就労や家庭の事情などにより、参加者実数が定員に達しない。医療機関等の関係機関との協力による周知や、参加者の生活に応じた補助的日程を設けることを引き続き検討する。また事業のあり方についても再検討の予定。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	(機能訓練教室)ホームプログラムが定着できるよう、毎回、内容の確認、チェック表、評価シートを導入することで、参加者が自らの状態を客観的にとらえられるように工夫した。事業終了後は、修了者が立ち上げた自主グループへの参加を随時紹介し、運動が継続できるように支援した。 ※自主グループ支援や介護保険サービスへの継続など一定の役割は果たしたと考えられることから、平成29年度の健康増進法の改正に伴い、機能訓練教室は廃止する。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成29年度からは、成人保健事業に統合し事業を展開していく。健康づくりや介護予防に関する普及啓発は続けて行っていくが、自主的な健康づくりを継続するために、市が展開する事業だけでは不十分であり、地域の資源を活用した展開方法等の検討が課題である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較)

比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	健康教育(講座、地区組織)、健康相談の参加(利用)者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成29年度から、成人保健事業へ統合		
地域で実施するイベント等も含め、生活習慣病予防や健診の受診勧奨等様々なことを普及啓発できた人数であるため(65歳以上)	目標値	2,100	2,200	2,300						
	実績値	2,263	1,795	2,452						
	達成率	107.8%	81.6%	106.6%						
指標の内容	機能訓練教室参加率(回数に定める参加延人数)					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成29年から事業廃止		
ホームプログラムを習得することを目指しているため。	目標値	80.0	85.0	85.0						
	実績値	72.8	64.4	77.2						
	達成率	91.0%	75.8%	90.8%						
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成27年度は実績値が低下したものの、平成28年度は平成26年度を上回る実績となり、ニーズは変わらずにあると考えている。市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」ことを意識し、誰もができるだけ長く、自分らしく暮らし続けることを目指す。そのための、意識付け・行動化・行動の定着化を支援する健康教育等の参加率により事業の効果を検討していく。									